キャラクター名
ライン・マーチネス（初期

プレイヤー名

種族	ドレイク	種族特徴	暗視/限定竜化/光ブレス/弱点(魔法+2)		
生まれ	拳闘士	性別	男	年齢	21
冒険者Lv	2	経歴	命を救われた		
経験点	0		大切な約束をしている		
			臨死体験をしたことが有る		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	13	器用度	5			18	3
		敏捷度	5			18	3
体	13	筋力	6			19	3
		生命力	7			20	3
心	4	知力	14			18	3
		精神力	10			14	2

技能	Lv.	技能	Lv.
グラップラー	2		
マギテック	1		

技能

	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	2	5	5	5
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾

		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	ポイントガード		5	1	
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	グラップラー	合計値		6	0

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ハードノッカー グラップラー専用、パンチ強化	1H	5	1	2d+ 6	10	5	10										
				2d+													
				2d+													

一般装備品 (消耗チェック)

冒険者セット	○□□○□□
ヒーリングポーションx5	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□

所持金 60 G

預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	18 m	54 m

回避	防護点
2d+ 6	0

HP
26

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 0/×	2d+ 0

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 5	2d+ 4

MP
17

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
魔動機術	1	4			

戦闘特技

追加攻撃	220 p		p
投げ攻撃	225 p		p
魔力撃	227 p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
ドレイク語	○	○
汎用蛮族語	○	○
魔動機文明語	○	○

装備品	説明
頭	
耳	
顔	
首	
背中	
右手	
腰	
足	
その他	

装備品	説明
左手	

練技/呪歌/騎芸/賦術

名誉アイテム	点数

名誉点 所持 0 /合計 0

その他メモ

「別にお前が悪党に成り下がったならそれはそれでいい。でもな、”お前がそんなツラして俺の顔を拝んでんのは気に食わねぇ”」
彼は蛮族の中でも有数の貴族種のドレイクに属しながら魔法敵性が一切無かった事から、その待遇は底辺の蛮族と同じ物だったそんなラインと、ひょんな事から友達になった貴族のドレイク、ラインとは対極的に圧倒的な才能を持つレイヴが居た。
そんなレイヴは（ラインの余りの弱さに見兼ねて）操霊戦士に拘って居たラインに、自らと同じグラップラーの可能性を伝えた。彼がレイヴのレベルまで追い付くのはそう時間は掛からなかった。（恐らくライン自身、セッション間中等にヴィンセントの様な努力をしている事も無く成長している事から元々センスは皆無じゃ無ったかも）
そしていつしか、ラインとレイヴはコンビを組んで依頼を熟していた。だがある日、二人にグスタフの暗殺を依頼される。勿論未熟な二人にグスタフを殺せる訳も無く、返り討ちに遭う。その時、ラインだけがドレイクとして生命線であった自らの魔剣を失った。だが、グスタフの魔力撃の一撃が媒体となり、ラインは素養の無い筈の”魔力”に目覚めた

自動失敗チェック
□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟